

小田川（左端中央付近が「復興防災公園」予定地）



道

2022年7月1日
(第83号)

初めての子は陣痛が始まって産まれるまで三日三晩かかった。最後は器具を頭に当てて引っぱり出す方法が取られた。大きな女の子だった。夫婦は働き学ぶ夜間学生の最終学年で、妻は勤めていた市立の障害児入所施設を産休後に退職する。彼女は、その年度、大学には試験などを含めて数えるほどこしか通えなかったが、卒業に必要な単位を取得した。▼卒業の一年後、夫の就職で名古屋から三重県に移ることになり、妻はその引越し作業を大きなお腹をかかえて行く。二度目の出産は早かった。夫はかけつけた病院で、保育器に入った男の子に直面することになる。▼妻は志していた職を断念し子育てなどに追われる生活をおくる。一方、夫は仕事中心で家庭を顧みない。妻は悶々とする気持ちを夫にぶつける。彼は、女には勝てないと思つた。彼女の言うことは正しく、生活に根差し具体的で、なおかつ彼の弱点を突いてくる。夫は妻の心の奥底にある想いにやさしい眼差しを向けることができなかつた。逃げた。▼妻との別れは、二人の子どもの別れでもあった。その時、長女十三歳、長男十一歳。それ以来、二人の子に顔を合わせていない。▼今年の「父の日」、贈りものが届いた。娘からの電話。その声は穏やかで父の心を温かく包み込んだ。この世に出るのを一時躊躇した女の子には、高校生の娘がいるという。放送大学で学び続けているとも聞いた。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也

※前号の野鳥：題字より左回りで、カワセミ、ウグイス、アオサギ、ハクセキレイ、キジ、エナガ、ヒクイナ、シラサギ、モズ、ノスリ



遠田 椋の木